

## 令和4年度第2回庄原市学校・警察連絡協議会兼庄原市生徒指導主事等研修会

開催日：令和4年12月7日（水） 開催場所：庄原市ふれあいセンター 集会室

参加者：庄原警察署，北部こども家庭センター，庄原警察署管内少年補導協働員連絡協議会，庄原市主任児童委員，庄原市内県立高等学校，庄原特別支援学校，庄原市内小・中学校，広島県教育委員会，庄原市児童福祉課，庄原市教育委員会

広域化，低年齢化する児童生徒の問題行動及びいじめ問題等について，学校と警察，関係機関等が組織的な連携を深めることを通して，児童生徒の問題行動及びいじめの未然防止を図ることを目的とし，研修会を行いました。

### 【講話】 「少年非行の現状と課題について」

庄原警察署 生活安全刑事課長 原本 勇

今年度10月末現在では，広島県内の非行少年総数は増加傾向にあり，令和4年度は令和3年度と比較すると59人（12%）増加している。庄原市の非行少年総数は減少しているものの，不良行為少年総数は増加している。子供への声かけ事案，不審者情報について，広島県内では減少しているが，庄原市においては増加している。これは昨年度から実施している「ジュニアポリス」により，小学生が問題意識，警戒感をもち始めたことが要因の1つだと考えている。



### 【講話】 「生徒指導上の諸課題の現状と課題について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 福田 和宏

庄原市の生徒指導上の諸課題について説明した。全国的にも不登校児童生徒数は増加傾向であるが，本市ではその傾向がより大きく，深刻な課題である。庄原警察署，北部こども家庭センター，少年補導協働員連絡協議会，主任児童委員，児童福祉課，小中学校，高等学校，特別支援学校など様々な立場から本市の生徒指導に係る現状と課題を共有した。

### 【実践発表】 「SSRの取組を通じた不登校生徒への対応について」

庄原市立総領中学校 SSR担当教員 田中 宏明

今年度，広島県教育委員会より不登校SSR（スペシャルサポートルーム）推進校の指定を受けた。不登校SSRの取組を実践するにあたり，「数字の改善より，実態を前進させる」ということを全教職員で共有した。週に1回，生徒支援会議を行い，校長のリーダーシップのもと具体的な支援方針を決定している。生徒の小さな変化を見逃さないよう注意しながら取組を進めている。また，北部こども家庭センターや庄原市児童福祉課，主任児童委員，庄原市教育委員会等の関係機関との連携を深めている。これまでの取組から不登校を「社会的な自立に向けた進路の問題」と捉えるなら，中学校卒業後の支援の在り方まで道筋をつけていくこと，つまり，持続可能な取組にしていくことが大切ではないかと考えている。



### 【協議・交流】 （1）不登校の未然防止に係る取組について （2）不登校児童生徒への対応について



### 【指導・助言】 広島県北部教育事務所 教育指導課 指導主事 須山 雅弘

各学校においては，不登校の未然防止として，「魅力ある学校・学級づくり」に取り組んでいただきたい。また，児童生徒の実態に合った支援が重要となり，個別最適な学びの充実を図る。不登校児童生徒が利用している別室の運営について，他県の事例も参考となる。

#### （事後アンケートより）

- ・不登校の未然防止として，「居場所づくり」「通いたいと思える学校」にするために，児童生徒一人一人が輝ける機会を設けていきたい。学業不振から不登校につながることもあるので，授業のユニバーサルデザインに取り組むことも未然防止につながる。
- ・不登校児童生徒が増えないよう，不登校児童生徒の登校日が1日でも増えるよう，「行かなければならない学校」ではなく，「行きたい学校」にしていく。
- ・児童会，生徒会活動の充実を図り，児童生徒に「自分たちでできた」と達成感をもたせ，自己肯定感を高める工夫する。